

2021年4月7日

立命館慶祥中学校 第22回入学式に係る式辞

立命館慶祥中学校·高等学校校長 江川 順一

新型コロナウイルスによる感染症拡大予防のため、保護者の皆さまの参加人数を制限するとともに、来賓および立命館学園からの出席を控えておりますことをご理解いただきたく思います。感染拡大の状況については、今なお予断を許さない中、新入生の皆さん全員、そして保護者の皆様のご臨席を得まして、立命館慶祥中学校の入学式を挙行できますことは、新入生や保護者の皆様にとっても、私ども教職員にとっても、大きな喜びとするところです。

保護者の皆さま、12年間にわたる子育て、本当にお疲れ様でした。

わが子が生まれてから今日の日まで、どれほどの「喜びと感動」そして「苦労」があったことでしょう。 何千回と繰り返したおむつ替え、熱を出して寝られなかった夜、初めてつかまり立ちした日、初めて言葉を 話した日。すべてわが子のかけがえのない記憶です。

この「喜びと感動」、そして「苦労」が、今日のわが子の晴れやかな姿をしっかりと支えています。今日、 皆さまの前列で、愛情の限りを注がれて育った得意満面のわが子は、胸を張って誇らしげに座っています。

そして、今日から、自分自身で固めた「決意」によって、立命館慶祥での学びをスタートさせます。そのことを、私たち教職員 202 名がしっかりと受け止め、204 名の「確かな決意」をお預かりしたいと思います。

第22期、新入生の皆さん、立命館慶祥中学校へ入学おめでとう。

皆さんが 12 歳という年齢で、人生で初めての入学試験に挑戦、見事に合格したことに、心からおめでとうと言いたい。

この1年間は、新型コロナウイルスのため、落ち着かない毎日が続いて、たくさんの不安や迷いがあったことでしょう。その中であなたは、全国の大多数の小学生のように、あえてやらなくてもよかったチャレンジを、自分で「決意」し、そして、立派に成し遂げることができました。

合格を目指してひたすら努力した毎日、模擬試験の結果に肩を落とした日、精神的に張り詰めた毎日。たくさんの試練を乗り越えて、今のあなたが、ここに居ます。

忘れてはならないのは、そのことを、家族の方々がしっかりと理解していたことです。今日のあなたの立派な姿があるのは、決してあなた一人だけの努力ではありません。家族の方々の支えがあってこそ、今日の日がある。そのことに、帰宅してから、改めて感謝の気持ちを述べてほしいと思います。

皆さんは、今朝、自分の教室に入られましたね、いかがでしたか?

学年フロアや教室、廊下には、色とりどりの紙で作った手作りの花々が、「入学おめでとう!」の文字と一緒に、溢れんばかりに咲き誇っていました。そして、机の上には、あなた宛ての1枚のカード。それは、先



輩の言葉がちりばめられた真心のメッセージカードでした。

慶祥中では、昨年まで中1であった今年の新中2が、新入生のおもてなしをします。前の年に、自分たちがもてなしてもらったことに感謝し、次の年の新入生に喜びを伝えていく、「感謝と喜び」を後輩に送り伝える「慶祥の伝統」です。

あなたは、先輩からの「伝統のバトン」を、確かに受け取りましたか?

これから、3つの話をします。

最初は、「世界に通用する18歳」です。

本校が1996年の開校以来25年間、変わらずに掲げてきた立命館慶祥の、目指す生徒像です。

「世界に通用する18歳」とは、3つの意志を持った生徒です。

1つ目は、「挑戦」。どんなことにも勇気を持って「挑戦」する生徒です。

2つ目は、「協働」。人種・宗教・文化の違いを超え、互いに議論し、皆で協力して解決しようとする生徒です。

3つ目は、「貢献」。社会や世界に「貢献」する高い志を持ち、グローバルリーダーとして世界の困難に立 ち向かう生徒です。

「挑戦、協働、貢献」をひとつひとつ積み重ねることによって、「世界に通用する 18 歳」へと、逞しく成長した慶祥生になることを期待しています。

次に、「With コロナ時代の学び」です。

新型コロナウイルスによって、今までの価値観が揺らぎ、不安が世界中を覆っています。環境、紛争、格差、差別などの課題が、コロナ禍によって一層深刻な状況となっています。

「With コロナ」という言葉を知っていますか? 「新型コロナウイルスと共存する」という意味です。コロナの流行は世の中に変革をもたらしました。社会全体がデジタル化を前提として、授業の方法、教育の在り方や仕事の仕方も大きく変わります。

これからの「With コロナ」時代は、数年先であっても、何が起こるか誰もわかりません。世の中がどう変化するかわからないときに、一番大事なことは、自分の頭で、自分の言葉で、データを用いて論理的に考えることです。

自分の頭で、自分の言葉で、データを用いて論理的に考える生徒を育てるために、授業も変わります。皆さんが一人一台のデジタル端末を持ち、慶祥の校舎内の全教室・全フロアに接続することができる Wi-Fi 環境を整備し、ICT を活用した主体的・対話的な学びを推進します。

先を見通すことが困難な時代だからこそ、慶祥は挑戦を止めません。ピンチをチャンスに変えて、大きく 飛躍するのが、慶祥の流儀です。

最後に、「あなたは、誰のために学び、誰のために生きるのですか?」という宿題です。

あなたは、中1の北海道研修でふるさと北海道を知り、中2の京都研修でわが国日本を知ります。そして、 中3のNZ研修で、世界の多様性を学びます。

慶祥中の生徒は、学年ごとに、北海道から日本へ、そして世界へとステージを一つずつ移します。学びの ステージを着実にアップするたび、「自分は、誰のために学ぶのか、誰のために生きるのか?」と、自らに問



うのです。その答えを、自分自身で見つけることが、あなたが立命館で学ぶことの大切な意味です。

「あなたは、誰のために学び、誰のために生きるのですか?」

この答えを探し求めることが、これから長く果てしない道を歩むあなたをしっかりと支え、あなたを生かし、あなたが生きる「人生」を豊かにするのです。それは、「With コロナ」時代にあっても、少しも変わりありません。

あなたの目で世界を見詰め、あなたの手で世界の真実に触れ、あなたの心で世界を考える。それをしない 限り、この問いへの答えを生み出すことはできません。

このことを、今日、あなたに宿題として出します。立命館慶祥で学ぶ者として、じっくり時間をかけて考えてほしいと思います。締切は、6年後の卒業式の日です。

結びに、本日入学した 204 名の新入生の皆さんの、充実した中学校生活と、健やかな成長を祈念し、式辞といたします。

2021年4月7日 立命館慶祥中学校 校長 江川順一